

はじめての方へくじ活動ノート

～参加してみようよ！ 地域のやわらかいたすけあい活動事例集～

神奈川県
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

contents

■ かながわマップ	1
■ 地域福祉活動ってなに?	2
■ 高齢者などの見守り活動	3
事例 1 お互いさま山の根 事例 2 ふれあい訪問 ①言葉の解説	4
■ パリアフリーの活動・障害のある人たちの就労と社会参加の場	5
事例 3 出会い・発見・まち探検 事例 4 パソコンひろば平塚 事例 5 ともしひショップ Cafe BLUE SEAS 三浦市 ⑥身近にあるユニークアートデザイン	6
■ 世代間の交流やサロン活動	7
事例 6 おだわら21世紀少年 事例 7 共育ひろば 事例 8 つるまさきほつどタイム 事例 9 小学生からの手紙つき給食サービス	8
■ 地域住民が取り組む福祉バス	9
事例 10 央和地区福祉バス ⑦外国籍の人とどもに生きるまちづくり 事例 11 多文化まちづくり工房	10
■ 施設のボランティア活動	11
事例 12 横須賀基督教社会館 ⑧ボランティアってなに? ⑨自分の町を良くするしくみ 事例 13 赤い羽根共同募金	12
■ あなたのタイプ? 地域福祉活動チャート	13
■ 市内のボランティアセンター	14
■ 逗子市 秦野市 平塚市 三浦市 大和市	15
小田原市 川崎市川崎区 秦野市 相模原市	16
上北町 横浜市泉区	17
横須賀市	18
横浜市神奈川区	19
20	21

かながわマップ

見には、個性豊かな33の市町村があります。みなさんの生んではいるところにはどんな特徴があるのでしょうか。自分の街のいいところを探してみよう。



ち　いき　ふく　し　かつ　どう 地域福祉活動つてなに？

わたしたちの暮らす地域には、子どもから高齢者までのある人、なまづがいる人などさまざまです。誰一人として全然同じ、という人はいません。いろいろな人がいて、一緒に暮らしてしません。いろいろな人がいて、一緒に暮らしてしません。みんなさんは暮らしの中で、家族だけでなく、友だち、下級生、近所の人、先生、親戚など子どもから大人まで毎日多くの人と関わる生活を送っていますね。こういうた身邊の人と関わる会うことを「地域社会」と呼びます。

自分以外の人と一緒に何かをして、話をしたりするところは、時に正面倒なところもありますが、多くの事があり、新しい考え方や物の見方などを教えてくれます。人との関わり合いは、私たちの暮らしをどのようにして大きくしていくかということにとても大きな影響を及ぼします。



「福祉」とは、「幸せ」を意味する言葉です。そこには人と人の関わり合いがあります。「地域福祉」とは、毎日の暮らしの場である地域が、そこに暮らす全ての人にとって安心して生活できる場になるよう、みんなで考えお互い協力していくことを言います。住みやすい地域を作るための課題や問題、また、それを解決するための方法や取り組みも、地域に特色があります。そして、そんな問題解決のための実際の取り組みが「地域福祉活動」と呼ばれています。

ぜひ地域福祉活動を知っていただき、考えてくださいね。

おまかせ

事例① お互いさま山の根 @逗子市

近所の人においさつしているがな。普段がら、地域でお互いにおいさつしたり、気にかけあうつたり大事だよね！



逗子市の山の根自治区では、「お互いさま山の根」というチームを作り、一人暮らしの高齢者や障害のある人が地域で安心して暮らせるように、「見守り」と「生活支援」を行っています。見守りは、近所に住む人がサポートとなって、いつもと違った様子はないか? 異常が悪くて倒れていなかいか? と気付けています。何か異常があれば自治区や役所に連絡をして、助けにつなげます。生活支援は、ボランティアの人が、一人では電球の交換ができない、草むしりができない、といった小さな困りごとを手助けします。また、遠くで買いたい物に行けなくなったり重いものを運ぶことが出来ない場合のために、配達をしてくれるお店を紹介したりしています。

高齢者などの見守り活動

最近テレビや新聞で、少子高齢社会の問題がよく取り上げられているよね。

今の日本には、一人で暮らす高齢者や障害者、子どもが育つて高齢の夫婦二人だけで暮らす家がたくさんあるんだ。これからもっと増えていくと言われているよ。だけど、このような人たちには、大きな地震や火事があった時、無事逃げることが出来るだろうか。

また、何か困ったことがあった時、近くに家族や友達がいれば良いけれど、いない場合には近所の人だよね。

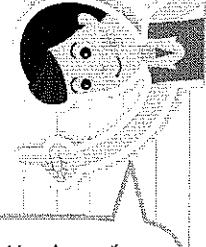
山の根自治区では、近所の人がサポートになって声をかけたり、ボランティアの人が生活を手助けしたりする関係ができることで、一人暮らしでも困った時には、すぐ「助けて」と言えるし、地域の人も「助けてくれる」と思うようになったって。「お互いさま山の根」の人たちは、「サポートだけでなく、誰もが自然に見守り、見守られる関係になるのが願い。そのためには近所の顔見知りを増やすこと。中学生も気軽に近所の人においさつしたり、声をかけて欲しい。」と言っているよ。

家族や友達でなくとも、地域でちょっとしたお願いごとができる関係をつくる事が大切なんだよね。

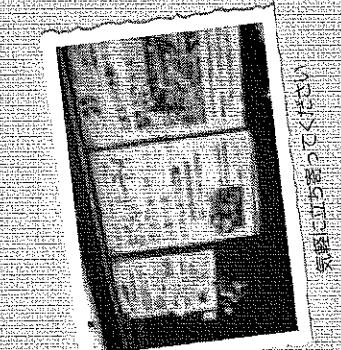
こんなことをやっているみ！

「お互いさま山の根」は月に1回駅近くの広場で地域の交流サロンを開いています。サロンには高齢の方や販賣の主婦、子供を連れたお母さんなど誰でも気軽に立ち寄ることが出来ます。

お菓子を食べたり、お茶を飲んだり、時には、おでんパーティも！地域の顔見知りが増え、声をかけ合う関係づくりに役立っています。



おでんパーティ



見守り会



見守りはあいだから



お互いさま山の根

事例② ふれあい訪問 @大和市

一人暮らしの 高齢者を訪問する 活動があるんだって。

大和市中央林間地区では、一人暮らしの高齢者が安心して地域で暮らしていくよう、地域で見守る“ふれあい訪問”を行っています。

訪問は、ボランティアが月に2回、2人ずつペアで一人暮らしの高齢者の自宅に訪問します。その際に、からだの具合が悪くないかなどの安否の確認をし、何か困っていることがあれば、手伝ってくれる別のボランティアや民生委員・児童委員などにつないでいきます。初めのうちには、玄関先でほんの数分間立ちち話ををする程度だったのに、訪問を重ねるうちにどこでも親しくなり、今では1時間以上話し込むことがあります。

自分がもし一人暮らしとなつて、誰とも話をすることがなくなつたらどうなるか、想像したことあるかな？
年を重ねると体が弱くなつて活動する範囲が狭くなつたり、家族との別れなどから、精神的にも落ち込んだり、地域の人と話ををする機会が減つたりしてひきこもつてしまうことも多いんだ。「孤立」という言い方をすることもあるよ。

このふれあい訪問は、そんな孤立を防ぐために妥否の確認や見守りをする活動だけど、ひとり暮らしの人にとつては誰かと話をする楽しみな機会でもあるんだよ。一方で、訪問ボランティアにとつては、訪問することで高齢者から人生のさまざまな英知や幅広い経験談など“人生の先輩”から教わることがたくさんあります。くさんあつたりして、お互いにとつて貴重な機会といえるね。

誰かと話をすることが、地域の中での孤立を防ぎ、周囲の人とつながることで、生活していく上の精神的な支えや生きがいにもなっているんだね。

若いとの交流は
とても楽しみ！

訪問を受けている方の声

普段、他人と話をする機会があまりないので月2回の訪問の時間はとても貴重な時間です。この年になつても若いとの交流はどうでも嬉しい。訪問ボランティアの方たちの訪問はとても楽しめます。

高齢者などの見守り活動



高齢者
見守り活動

玄関先であいさつ

そろそろ見守り時間です

かランティアによる見守り活動
の準備会や
訪問

言葉の解説

【自治会つてなに?】

「自治会」とは、地域を快適で住みよくするために、そこに住む人たちが自主的に結成している団体です。住民がお互いに話し合い、協力し、地域のためにいろいろな活動を行っています。例えば、ごみ処理活動、雑品回収、交通安全活動、防犯、防災、清掃活動、お祭りなどがあります。自治会内の連絡には回観板や掲示板も使われています。自治会に入ることによって、住民同士の出会いの場やコミュニケーションの場が増えます。

【民生委員・児童委員つてなに?】

「民生委員」とは、民生委員法に定められ、地域住民の中から選ばれ、厚生労働大臣から仕事をまかされた人で、一人暮らし高齢者などのお宅を訪問し、困りごとがないか聞いたり、福祉サービスを利用したい人のために市役所の窓口を紹介したり、住民の身近な相談役として活動している人です。また、民生委員は児童福祉法で定められた「児童委員」の仕事も兼ねています。子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談にも乗っています。活動はすべて無償（ボランティア）です。

このように「民生委員・児童委員」は、住民が住み慣れた地域でずっと安心して暮らしていくけるよう常に住民の立場で親身になって様々な相談に乗り、解決するためのお手伝いをしています。現在、全国で約23万人の民生委員・児童委員が地域のために活動しています。

【社会福祉協議会つてなに?】

「社会福祉協議会」（略して社協（しゃきょう）と呼ぶこともあります）とは、社会福祉法に定められた「地域福祉の推進を図ること」を目的とする社会福祉法人で、全国に設置されています。社会福祉協議会は、地域に暮らす人々、社会福祉関係者、団体、さまざまな機関が参加し協働して、誰もが安心して生き生きと暮らせる地域づくりに向けた活動・事業を行っています。

【地区社会福祉協議会つてなに?】

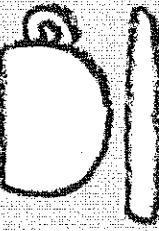
「地区社会福祉協議会」（略して地区社協（ちくしゃきょう）と呼ぶことがあります）とは、市町村よりも小さい小学校区・中学校区ほどの広さにおいて、より身近な地域で福祉活動を進めるための住民自身による組織です。地区社会福祉協議会は地域の様々なメンバーで構成されています。例えば、自治会（町内会）、民生委員児童委員、老人クラブ、子ども会、ボランティア団体、PTA、関係者など、地域づくりに関心のある人や地域の役に立ちたいと思っている人が中心になり協力して活動を進めています。活動内容は、高齢者のサロン活動、子育て支援活動、福祉まつり、食会や配食などの食事サービス、安否確認のための見守り訪問活動など、地域によって様々です。自分たちの生活する地域の日常的な福祉問題を自分たちで考えながら、住民自身による地域づくりを進めています。

【ともしひ運動つてなに?】

ともしひ運動とは、障害のある人や高齢者も若者も国籍が違う人も、すべての人たちが、お互いに理解し、人権を尊重し、手を携えて歩むことができる「ともに生きる福祉社会づくり」を推進する、かながわの県民運動です。

このシンボルマークはハートの中にあかあかと燃えるともしひを表しています。

Tea break



事例③ 出会い・発見・まち探検 @秦野市

障害のある人と
小学生が一緒に
歩きながら、街の
バリアフリー一点検を
しているんだって。

障害のある人もみんなが住みやすい街になる、
それはとても大切なことです。秦野市社会福祉協議会の福
祉教育プロジェクトチームでは、本町小学校の4年生が参加
する「まち探検」を行っています。これは障害がある人と
小学生どが一緒に歩きながら、街のバリアリーの大切さ
を考え取り組みます。街中を移動する上の問題点を一
緒に考え、おしゃべりをしながら、車いすを押したり、筆談
をしたり、誘導したり…障害のある人と小学生がそれぞれ
の思いや違いを理解しながら交流を深めるプログラムに
なっています。

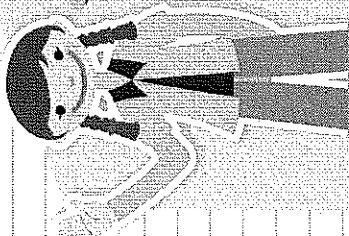
身体に障害のある人と一緒に歩くことで、
今までとは違った目線で街が見えてくるよ。
生活するうえでの不便さだけじゃなく、車い
すの機能や障害がある身体のこと、点字プロッ
クなど街のバリアフリーの環境のこと、いろんな
なところに关心や疑問もわいてくるしね。

それに、自分との違いをありのままに感じる
という体験はとても大事だと思うよ。その上
で、お互いに会話をしたりコミュニケーション
をとることで、それぞれの思いを理解したり
新たな発見が生まれてくることもあるんだよ。
街探検のプログラムが終わったら、声をかけたりあ
る人に街で出会ったら、声をかけたりあり
いさつを交わす、自然なつながりが続いてい
るんだ。

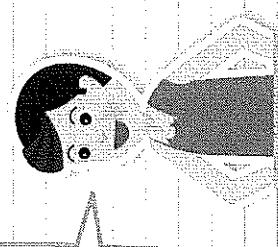
このプログラムはそうした気持ちがつなが
る「種まき」と言えるね。またた種が、家庭や
地域で育つといけば、みんなが安心して暮ら
せる街になるよね。

車いすを使っているこ
ともあつて、一見すると、見た
目の違う私が、みんなと同じふつ
うな生活を送っていることを知つ
ほしい。それに、子どもたちには、自分
の街に色々な人が共に暮らしているんだ
と言うことに気付かなければなって
いいです。この体験プログラム、
今後さらに回を重ねて開催して
いけたらいいですね。

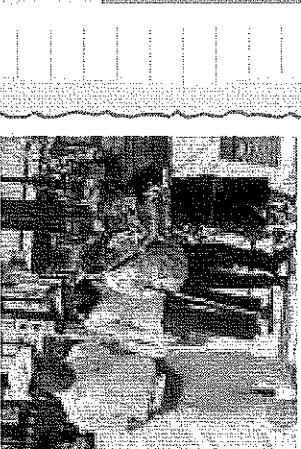
バリアリーの活動・障害のある人たちの貢献と社会参加の場



車いすを利用している参加者の声！



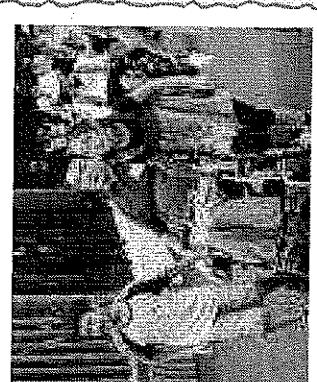
車いすを使っているこ
ともあつて、一見すると、見た
目の違う私が、みんな同じふつ
うな生活を送っていることを知つ
ほしい。それに、子どもたちには、自分
の街に色々な人が共に暮らしているんだ
と言うことに気付かなければなって
いいです。この体験プログラム、
今後さらに回を重ねて開催して
いけたらいいですね。



商店街にて



駅にて



まち探検、いよいよ出発！

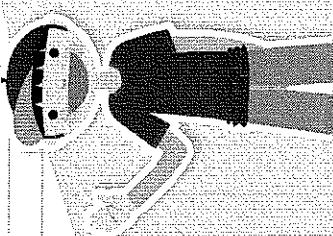


まずはピシゴ大会で開幕づくり

事例④ パソコンひろば平塚 @ 平塚市

障害がある人の ためのパソコン教室が あるんだって。 どんな活動かな？

「パソコンひろば平塚」は障害がある人のためパソコン教室です。パソコンを使いたい人が参加して、ワード・エクセルなどの一般的なソフトだけでなく、インターネットやゲームなど、自分がやりたいことをボランティアのインストラクター（INPO法人「T大蔵」）の方々に気軽に教わることができます。このパソコン広場は、「ネットサロンKLC（キルク）」の中にあり、近所の人が来て、インターネットを楽しみながらお茶を飲んだりする場所もあります。障害のある人たちが作っているお菓子やパンなども売っていて、近所でも美味しいと評判です。



パソコンは、障害がある人のコミュニケーションツールの一つとしても活用されているんだ。でも、障害のある人にとっては、市販のパソコンをそのまま使うことができない場合もあるから、障害に合わせた支援機器が必要なこともあるんだ。それに、パソコンの機種を選ぶことやパソコンの設置、設定を一人でやるのが難しかったりする場合もあるよね。そんなときに、身近な地域でパソコンを学んだり、支援機器について相談できる場所があるとすごくいいよね。

また、ここでは、障害のある人とボランティアの人やお菓子を買いたい人が何気ない会話を交わしながら楽しく交流をしているよ。パソコンを学びながら、社会や地域とつながりを作っている場でもあるんだね。将来的には、障害者もインストラクターとなってボランティア活動に参加することを目指しているそうだよ。

バリアフリーの活動・障害のある人たちの就労と社会参加の場

パソコンは、障害がある人のコミュニケーションツールの一つとしても活用されているんだ。でも、障害のある人にとっては、市販のパソコンをそのまま使うことができない場合もあるから、障害に合わせた支援機器が必要なこともあるんだ。それに、パソコンの機種を選ぶことやパソコンの設置、設定を一人でやるのが難しかったりする場合もあるよね。そんなときに、身近な地域でパソコンを学んだり、支援機器について相談できる場所があるとすごくいいよね。

パソコンひろば平塚
高住さん
パソコンに興味はあるけれど、触れる機会のないやど、学生の皆さん、気軽に立ち寄ってください。ここがみんなのたまり場になってしまいです。利用されている方からは「中学生のまうが、気軽に質問しやすいから良いなあ」という人もいます。信題をしながら一緒に交流の場として利用してみませんか。



受講者作品集の表紙



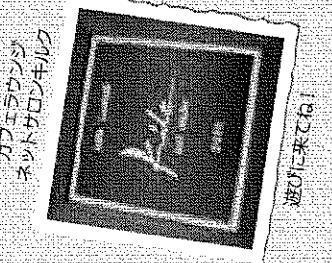
みんなの作品を載めました



カレッダー製作中



遊びに来な！



カフェラウンジ
ネットワークルーム

楽しみながら学べます

事例⑤ ともしひショップ Cafe BLUE SEAS（カフェ・ブルーシーズ）@三浦市

ともしひショップで
まぐろカツバーガーを
食べたんだって。
ともしひショップって
知ってる？

三浦といえばまぐろが有名ですが、そんな三浦にともしひショップ“Cafe BLUE SEAS”があります。ここではまぐろやキャベツなどの地元食材を使った“みさきまぐろカツバーガー”が大人気。熱をくわえるとトロリとやわらかくなるまぐろの尾の身を使つたヘルシーな手作りハンバーガーは、お代わりをする人もいるほどの人気メニューです。

三浦海岸の駅から徒歩2分のこのカフェ。観光客が多いのかと思ひきや、海岸までのメインストリートから一歩奥まった通りにありますので、意外にもお客さんはご近所さんが多いとか。おいしいハンバーガー目当てにリピーターとなつた地域の人たちが気軽にくつろげる場所になっています。

でも実はここ、おいしいものがあるカフェというだけではなく、精神障害のある人が一緒に働く場所でもあるのです。

精神に障害のある人の中には、人と接するこ
とが苦手だったりして、生活する上で不自由さ
を感じている人も多いんだ。でもそれは決して
特別なことではないんだよ。ここで働いている
人も、人と会話することが苦手だつたけれど、
カフェがオープンしてから2年が経ち、だんだ
ん地元の人にも知られるようになつて、道で
会話をきたお客様さんに声をかけられたりするうちに
会話が出来るようにになつたよ。

障害があつてもみんなと同じように働きたい
と思っている人は大勢いるんだよ。ハンバー
ガーアを作つたりお客様さんにサービスしたりする
うちに、少しずつでも人と関われるようになれる、そんな場所があるっていいよね。

「ともしひショップ」は、障害のある人が働くことを実感し、仲間や地域の方々とのふれあいを通して、自立と社会参加を実現していくためのお店なんだ。神奈川県内には、公共の建物や公園などに、49か所あるよ。

Cafe BLUE SEAS 所長
岩崎さん

生活の中で精神的な辛さを感じ
ている人は学校や近所など身近
なところにも必ずいます。障害
者を特別な人と思わずに、困つ
ている友達がいたら、さりげなく
声をかけてあげてみてください。
ちょっとした声かけがほつと
人を支えたりする
おそれから。

カフェ・ブルーシーズ



岩崎のまぐろカツバーガー

おしゃれなお店です

まぐろカツバーガーが大人気！

立て焼サンドもあります

言ひ地の良、医師に会話をすみます

身近にあるユニバーサルデザイン

製品や建物・環境を、障害・年齢・性別・国籍など、人がもつとぞれの違いを超えて、あらゆる人が利用できるように、はじめから考えて使いやすいデザインにすることをいいます。

ユニバーサルデザインとパリアフリー
ユニバーサルデザインと近い考え方としてパリアフリーアクセスがあります。

ハードや制度などのすぐにある障壁（パリア）を取り除くことがパリアフリー、性別、年齢、国籍、障害の有無にかかわらず、はじめからすべての方が利用できるようにつくっておこうという考え方方がユニバーサルデザインです。

たとえば、すでにある段差等のがリアを取り除くために、歩道の幅を広げたり、段差をなくしたり整えることがパリアフリーですが、はじめからだれもが歩きやすく幅が広い段差のない歩道をつくることがユニバーサルデザインです。

ユニバーサルデザインは、人にやさしい街づくり
人は年を重ねていくと、いろんなことが変わってきます。例えば目が見えにくくなったり小さな文字が読みづらくなったり、耳も小さな音が聞こえづらくなったりします。また、妊娠している女性や小さな子どもを抱える親は、駅の階段を上り下りするのが大変です。けがをして松葉づえをついたり、車いすを使うこともあります。あるかもしれません。

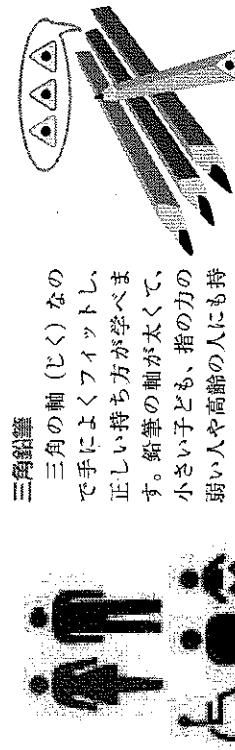
ユニバーサルデザインは、みんなが快適に過ごせる街づくりの方法の一つです。

トイレの案内サイン

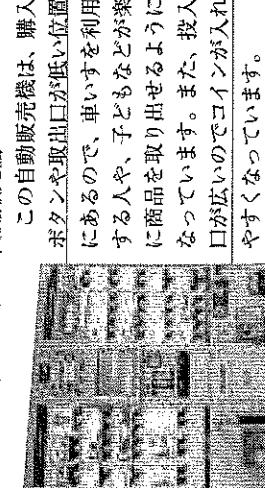
絵文字・絵単語（ピクトグラム）などとれます。情報を、誰にでもわかるデザインに単純化したものです。これなら遠くからでもわかりやすく、文字が読めない小さな子どもでも、ここがトイレであることがわかりますね。

三角鉛筆

三角の軸（じく）なので手によくフィットし、正しい持ち方が学べます。鉛筆の軸が太くて、小さい子ども、指の力の弱い人や高齢の人にも持ちやすくなっています。



ユニバーサルデザインの自動販売機



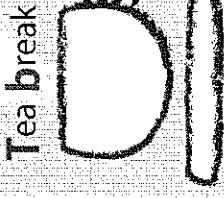
この自動販売機は、購入ボタンや取出口が低い位置にあるので、車いすを利用して車の下に座っている人のコミュニケーション手段を大きく広げました。

ダイヤルボタンが大きく、画面の文字も大きいので見やすくなっています。

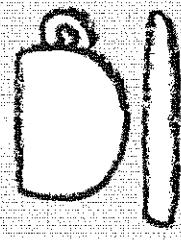
やすくなっています。



また、音声読み上げ機能付きの携帯電話は、視覚障害のある方にも好評です。



携帯電話



携帯電話メールの機能は、感覚に障害のある人のコミュニケーション手段を大きく広げました。

ダイヤルボタンが大きくなり、画面の文字も大きいので見やすくなっています。

事例⑥ おだわら21世紀少年 @小田原市

小田原市社会福祉協議会では、小学生から大学生までの子どもたちを集めた異世代交流イベント「おだわら21世紀少年」を行っています。これは、参加する子どもたちに「21世紀少年」を持つもらつたために、映画「21世紀少年」をモチーフとし、小学生から大学生までがグループをつくり、そのグループが協力しながら、大地震の災害対策をテーマにさまざまな体験を地域に入つて挑戦していくというプログラムです。

この体験では、ひなん避難生活を想定したダンボールの基地づくりや野外キャンプをしたり、地元のお店で話を聞いて、井戸など災害時の時に立つ場所をさがすまち探索をして、さらには、高齢者に防災に関するインタビューをするなどの交流体験をして、最後には新・よげんの書「子どもたちが考える防災絵画」を作つていきます。

今の中学生は、普段どういう遊びをしているかな? 最近は面白いテレビゲームも増えて、家の内で遊ぶことが多いんじゃないかな? それに受験勉強や塾通いで毎日忙しいでしょ。外で友達と遊ぶことって少ないんじゃない?

子どもが遊ばなくなつたことを“サンマがいなくなつた”と言うこともあるよ。これは「時間・空間・仲間」の三つの間(マ)が無くなつたっていう意味なんだ。競争社会や都市化のため、時間や遊び場所、みんなで遊びが機会が減つているということなんだね。でも、人と遊ぶことや外で遊びをとっても大切なんだよ。社会性って言つたりするけれど、人は遊びを通して多くのことを学び、人との関わり方や生きにくために必要なさまざまな手段を身につけていくんだよ。

このイベントでは、いつもの同級生とは違う年代の仲間が出会つて、互いに協力を出し合つて、普段経験できないようななことにチャレンジしているよ。仲間同士のチームワークによる活動が、今、薄れつつある世代間の学び合いの時間になつてゐるんだよ。イベントが終わつた後も、「町で会つたりすると声を掛け合うようになつて、嬉しくなる」という子たちも多いよ。参加した子たちの間には強い連帯感が出来上がつてゐるんだね。



社会福祉協議会
秋山さん

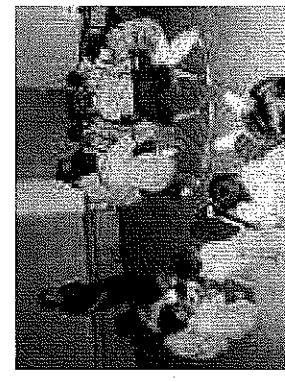
昔は地域にガキ大将がいた。ガキ大将として町裏をしたりもするけれど、弱い者を守つて、皆を引つ張るリーダーでもあつた。この「おだわら21世紀少年」に参加してくれた子ども達が、ガキ大将になって、将来、小田原の地域を支えるリーダーになつてくれたら…。今は地域にいなくなつたガキ大将が活躍、そしてガキ大将が活躍地域を担うリーダーになる、そんな願いを込めて、種まきをしている利山さんです。



町会生活体験「ロープワーク」



まち歩き実習風景



ランチブレイク



小田原城跡公園でハイキング

世代間の交流やサロン活動

「おだわら21世紀少年」の活動は、地域の高齢者と子どもたちの交流を目的としたものです。高齢者の方々が、子どもたちと一緒に活動することで、地域社会への貢献意識が高まります。

一方で、子どもたちが高齢者の方々と一緒に活動することで、彼らの尊厳感や自尊心が育まれます。また、子どもたちが高齢者の方々と一緒に活動することで、彼らのコミュニケーション能力が向上します。

「おだわら21世紀少年」の活動は、地域社会の活性化につながる重要な取り組みです。今後も、より多くの高齢者の方々が、子どもたちと一緒に活動する機会を増やしていきたいです。

事例⑦ 共育ひろば @川崎市川崎区

顔を知つてゐる人へ、よく話す人へ、挨拶する人へ、自分が暮らす地域にいますか？

川崎市の「共育ひろば」には高齢者・障害者がおしゃべりや食事を楽しむための「おしゃべりひろば」があります。料理が得意な人、折り紙が得意な人、おしゃべりが得意な人…それぞれが役割を持ちながらのんびりと過ごしています。また小学生が問題や遊びをしながら放課後を過ごすための「学童保育ばんび」や学習塾「マッキー塾」もあり、おしゃべり広場に来た高齢者と子どもたちが自然とふれあう場所となっています。そのため、近所で偶然会つたときにも、自然にあいさつや会話を生まれる関係になりました。

一人暮らしの人が、地域に声をかける人もいない、誰も頼る人もいない、気にかけてくれる人もいないで孤立…、つて最近よく聞くよね。でも、家族や友達と一緒に暮らしても、気になっていることを話したり、お互いを気にかけたりできなければ、それと同じ状態なんじゃないかな。そういう意味では、気になつていることを誰かに伝えたり気にかけ合つたりできる場所、安心して過ごせる場所が必要なんだよね。

共育ひろばは、高齢者と小学生が一緒に場所を共有しながら、お互いに気にかけることで“安心できる居場所”になっているんだよ。

こんな話もあるよ。「私は得意なことがないし、何もできない…。」という人でも、「いいんですよ。あなたがいるだけで場がなごむから。」と声を掛けてくれるんだって。こういう居場所が地域のあちらこちらに増えていくと、みんな安心して暮らしあくなるよね。地域の中でお互いに顔が見えてあいさつが出来る関係をつくることって、実は人と人の絆（きずな）を作る第一歩なんだなって思うよ。

おしゃべり
ひろば

共育ひろば代表
牧岡さん

牧岡さんは、人と人をつなげ、さらに地域の中でその人同士がつながりあえるように工夫し、利用者が自由に活動できるように見守る調整役もあります。

ぼくひとりでいた人が、

ここで出会い、互いに連絡

を取り合い、互いに気にか

け始める、これこそが地域

福祉です。ここを車立つて

行つたこどもたちには、人

のことを気に掛け、いたわ

り合える“気付きの目”を

養つていって欲しいです。



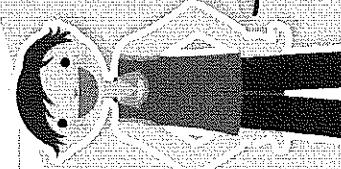
宇喜田香子さん（おしゃべりひろばの運営者）

吉村和也さん（おしゃべりひろばの運営者）

自然と笑顔が生まれるます

事例⑧ つるまきほっとタイム @秦野市

公民館に行つたら
小さい子どもとお母さんが
楽しそうに集まつていたよ。
「子育てサロン」って
いうんだって。どちら
どころかな。



秦野市鶴巻地区には子育て中のお母さんたちが集まる、子育てサロン「つるまきほっとタイム」があります。子育て経験のあるボランティアさんによるアドバイスをもらったり、お母さん同士でお話ししたり、小さな子どもと一緒に気軽に参加することができます。最近は自治会館やマンションの集会室などで行われる小さな子育てサロン「チホットタイム」が広がっています。このサロンは民生委員児童委員、地区社協の役員、ボランティアはじめ、たくさんの地域の人たちが協力して行っています。

子どもが小さい時は、身のまわりのことが一人でできないから、お母さんがお世話をするよね。子育て中のお母さんはとて
も忙しいんだ。だからお母さんは、自分の時間がなかなか持て
なかつたり、子育ての悩みを一人で抱え込んでしまったりする
こともあると思う。例えば、子どもが泣きやまない時、どうした
らいいか身近に相談できる仲間や場所があつたら心強いよね。

お母さんがちょっとひと休みできて仲間と悩みを話しあつたり、子育ての先輩に相談をしたりできる場所、子育てサロン「つるまきほっとタイム」はそういう場所なんだよ。特に「チホットタイム」ではお母さんたちの関係もより身近になつて、お母さん同士の友達“ママ友”も増えてきているみたいだよ。他にも夏の流しそうめんや「つるまきびっこ広場」っていう賑やかなイベントも年に数回あるんだ。子どもたちがたくさん遊んで笑顔でいてくれたら、お母さんも嬉しくなるよね。イベント当日は、多くの中学生もボランティアでお手伝いに来てくれるんだつて。また、最近では近所に住む高齢者が、子どもたちのために手作りのオブジェを作ってくれてとても喜ばれなんだって。

みんなが子育てのお手伝いをすることで、お母さんは助かる

お母さんと地域の人々がみんなで優しく包み込んで、町全体で子

育てに取り組んでいるんだ。

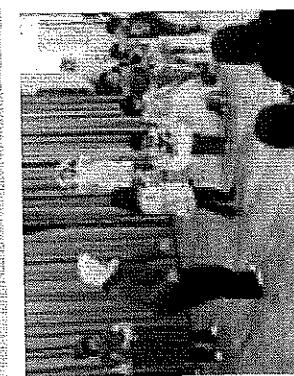
♪チホット♪

鶴巻地区はマンションや新しい住宅地が多く子育て中の人が多く暮らしていて、地域のみんなで子育てしやすい町づくりに取り組んでいます。

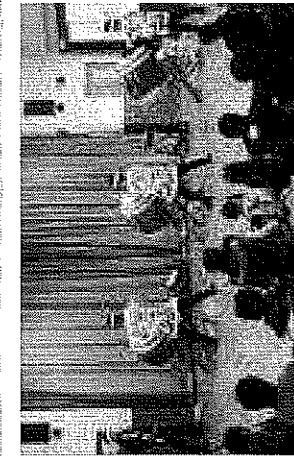
ここでは中学生のボランティアも音楽の方も、地域の人々もみんなで子育てに参加することができます。地域の活動に参加すること、協力することを通じて、人と人とのつながりが生まれる、その素晴らしさを教えてくれます。



当日は小学生がワークショップを行なう予定です。



和太鼓の演奏で盛大にオープンします。



おもちゃ作りも体験できます。



夏は金魚釣り

事例⑨ 小学生からの手紙つき給食サービス @相模原市

この前、一人暮らしの高齢の方に手紙を書いたら、“夢に向かつてがんばってね”という返事をもらつて、とても嬉しかつたよ。

相模原市大沢地区では一人暮らしの高齢者に配るお弁当、小学生からの手紙を添えて届ける活動を行っています。

お弁当はボランティアグループ「陽だまりの会」が作っています。手紙は、大沢地区にある4つの小学校の生徒、主に3年生が番号で書いています。初めは、一人暮らしの高齢者の方を確認する目的でスタートした活動ですが、4年前から今は小学校の協力を得て、お弁当の一つひとつに、心のこもったメッセージを添え届けられるようになりました。

身体が弱って、思うように外出できないという高齢者ではなく、たくさんの人がいるんだよ。人と会う機会が少なくなる中で、手作りのお弁当に子どもたちからの、かわいい手紙が添えられていたら嬉しいよね。

手紙を書いた小学生たちは「おじいさん、おばあさん」と思って、どうすれば喜んでくれるかを考えながら自分の将来の夢や、運動のこと、学校でのことなどを書きましたと言っているよ。一生懸命書いているんだね。

がが読んでいる姿を思い浮かべて、どうすれば喜んでくれるか考えながら自分の将来の夢や、運動会のこと、学校でのことなどを書きました」と言っているよ。一生懸命書いているんだね。

また、高齢者からの返事もたくさん届くんんだ。逆に子どもたちのほうが励まされたりして、元気をもらったり、高齢者自身のこともありますと交換が生まれているんだよ。

この地域では手紙の交流のおかげで小学生と高齢者
が日常的にあいさつする風景が増えたんだって。手紙を
通して世代を超えた心の交流が始まったと言えるね。手
紙が一人暮らしの高齢者にとっては心の支えになつてい
るし、地域では気軽にあいさつやなくなる心の交流手
段になっているんだ。これは、地域にとっての宝物だね。

子に付けておられたのである。そこで、その子の夫が、おまかせしておられたのである。それで、おまかせしておられたのである。

テレビが当たるところ

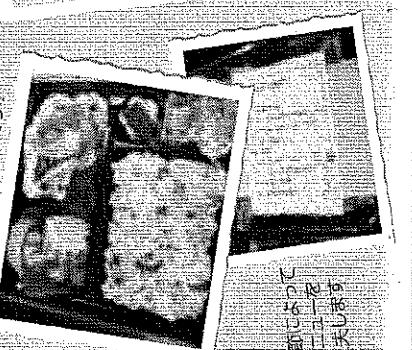
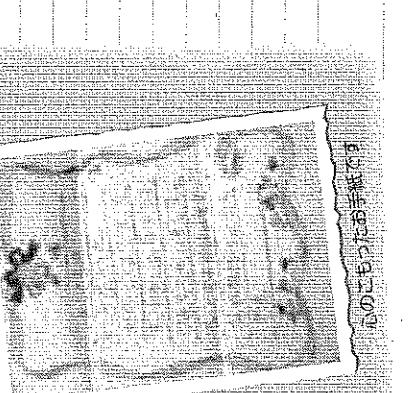
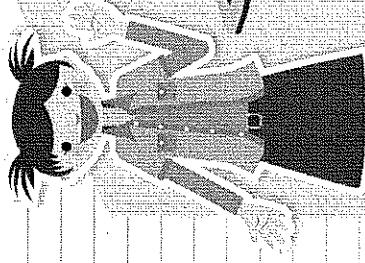
A high-contrast, black and white close-up photograph of a person's face. The features are mostly obscured by deep shadows, but the eyes and nose are partially visible, looking towards the right. The texture of the skin and hair is visible through the shadows. The entire image is surrounded by a wide, solid black border.

金井作手

卷之三

卷之三

世代間の交流やサロン活動



事例⑩ 共和地区福祉バス @山北町

住民の人達で取り組む送迎バスがあるんだって。

山北町の共和地区では、住民の人たちによる「共和地区福祉バス運営会」が、通学や通院、買い物など、地域の人の重要なつなぎとなる10人乗りのバスを運行しています。総面積の9割が山林の山北町。中でもここ共和地区は傾斜が急で狭い道が多く、車が行き違えない道路も数多くあります。そのため路線バスは入れず、町の中学校への通学には、自転車を使うか自家用車で送迎してもらうかどちらかになります。山道なので朝は下りで楽だけれど、帰りは自転車を押して登つてこなければなりません。また一方、仕事帰りのお父さんに自家用車で迎えにきてもらおうたちは、街角で待合わせまで時間をつぶさなければなりませんでした。

中学生が巻き込まれる事件が各地で起っているよね。この地域の人たちは、そんなマスコミの報道に胸を痛めたんだ。時間をつぶすために街をうろついたり暗い山道を歩く子どもたちのことが心配だったんだね。

「子どもたちの安全を守らなければ！自分たちで何とか暮らしあやすい地域にしよう」そんな強い思いから取り組みはじめたんだって。今地域のつながりが薄くなつたつよく言われているけれど、このバスをきっかけに、同じ思いを持つ共和の地域の人たちのつながりが、より強いものになっているんじゃないかな。

朝夕の通学の送迎に加えて、日中は通院や買い物をしたい人のために、行きたいところまで送ってくれるんだって。高齢の方にもともと足が足になつていているんだね。バスの運行以外にも、町で親と帰りを持ち合わせする子どものために、公民館や町役場で待合わせしてもいいように、町に遊び歩したりもしているよ。

どうしたら子どもたちが安全に暮らせるか、若い人たちが住みたい町になるか、また、どうすれば高齢者が暮らしやすい町になるか、いつもいろいろ考えているなんだって。

中学生が巻き込まれる事件が各地で起っているよね。この地域の人たちは、そんなマスコミの報道に胸を痛めたんだ。時間をつぶすために街をうろついたり暗い山道を歩る子どもたちのことが心配だったんだね。

「子どもたちの安全を守らなければ！自分たちで何とか暮らしあやすい地域にしよう」そんな強い思いから取り組みはじめたんだって。今地域のつながりが薄くなつたつよく言われているけれど、このバスをきっかけに、同じ思いを持つ共和の地域の人たちのつながりが、より強いものになっているんじゃないかな。

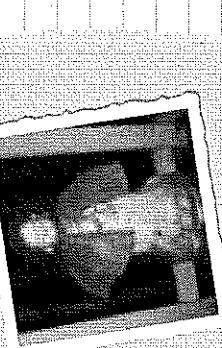
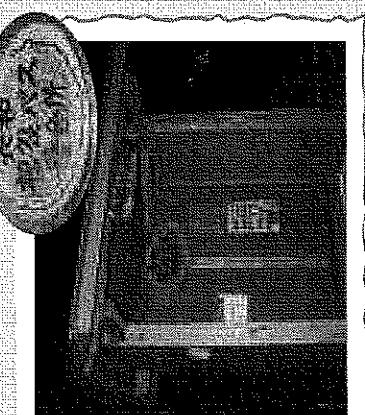
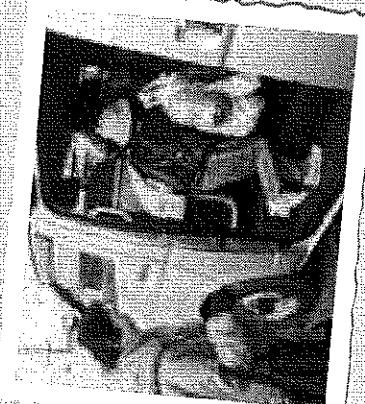
朝夕の通学の送迎に加えて、日中は通院や買い物をしたい人のために、行きたいところまで送ってくれるんだって。高齢の方にもともと足が足になつていているんだね。バスの運行以外にも、町で親と帰りを持ち合わせする子どものために、公民館や町役場で待合わせしてもいいように、町に遊び歩たりもしているよ。

どうしたら子どもたちが安全に暮らせるか、若い人たちが住みたい町になるか、また、どうすれば高齢者が暮らしやすい町になるか、いつもいろいろ考えているなんだって。

地域住民が取り組む福祉バス

ヨラツピタる！

謹美(ごみ)地蔵：道の車寄せにはごみの不法投棄が。そこで地域に住む彫刻家が作ってくれた謹美地蔵を置いてみたら、ごみが捨てられることなくなつた！



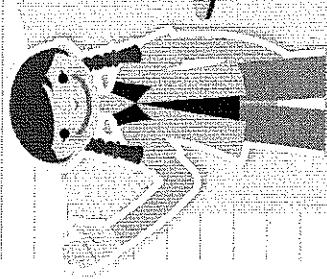
ヨラツピタる！

部活の早朝練習のため自転車で通学したら、学校や駅に停めた自転車を回収して宅配してくれる。そのおかげで、帰り道はバスで帰り、次の朝はまた自転車で部活に行くことができるのです。

木を作られたバス待合室はあじさいの爽快です

事例⑪ 多文化まちづくり工房 @横浜市泉区

言葉や文化、生活
習慣が違う外国籍の
人が日本で暮らす
サポートをする活動が
あるんだって。



横浜市泉区にまたがる大和市には、中国やベトナム、カンボジアなどいろいろな国籍の人も多く暮らしています。言語や文化、生活習慣が違う外国籍の人人が日本で安心して暮らしていくように、「多文化まちづくり工房」というボランティア団体がサポート活動をしています。外国人のための日本語教室には毎回たくさん的人が参加し、とても賑やかな雰囲気の中で行われます。また、小・中学生の学習サポートのために補習教室も行っています。今では外国人の子どもだけでなく、友達の日本人の子どもも一緒に暮らすこともあります。この他にも、翻訳、生活相談、団地のお祭りへの参加など、さまざまな活動をしています。

誰でも外国で暮らしていくことって簡単なことじゃないよね。きっと不安や困り事もあると思うんだ。例えば、ゴミの分別方法が分からなくなったり、市役所からの大切なお知らせが読めなかったり…。外国籍の人が日本で暮らすときも同じだと思うよ。だから身近にこういうサポートがあると助かるよね。多文化まちづくり工房では日本語教室や学習サポートをはじめ、翻訳活動として団地内の生活ルールや市役所からのお知らせなど生活に必要な情報をベトナム語や中国語、カンボジア語などいろいろな言語にして配ったり、生活上の困り事などの相談も受けたりしているよ。いろいろ団地まわりではいろいろな国籍を活かした国際色豊かなお店を出しているよ。そして、これらの活動はみんな、地域の人だけでなく、学生や社会人など、多くのボランティアの人々に支えられているんだ。外国籍の人も日本人もみんなが「共に生きる」まちづくりを目指しているんだね。いろいろな言語、国籍を持つ人たちが交流し、理解し合い、助け合える関係をつくる場所。そんな場所があればみんなが一緒に暮らせる温かい地域をつくれるんだと思うよ。

多文化まちづくり工房代表
早川さん

外国人の人とともに生きるまちづくり

私たちも外籍の人のためにとにかくではなく、ごく当たり前の人間のつながりを作っているんですよ。コミュニケーションが楽しいんです。国籍とか言語の壁いつてもしろ道いがあるからこそ、興味を持つものだし、違いがつながりのきっかけになるんだと思うんですね。大事なことは人とつながることなんですね。

※多文化まちづくり工房は、優れた国際文化交流活動として、平成22年度の国際交流基金「地球市民賞」に選ばされました(神奈川県から初の受賞)。



日本語教室はとてもアットホーム



会員は町の近くにあるしらべつ学校の国際文部室で



日本で暮らすひとと一緒に活動します



いろいろなメニューが出てきます

事例⑫ 横須賀基督教社会館 キリストきょうこう

この前、高齢者のティーサービスセンターに行つたんだ。ティーサービスセンターって知ってる？

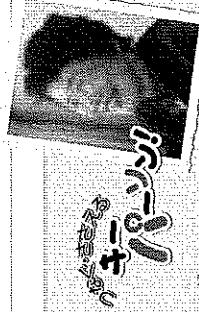
ティーサービスセンターは、介護が必要な高齢者が、日中安心して過ごせる場所です。朝、自宅にティーサービスの車のお迎えがあり、日中は、お風呂に入ったりと体操をしたり、みんなで昼食を食べたり趣味の活動をしながら過ごしたり、夕方には自宅まで送ってもらいます。横須賀基督教社会館にある喜望の園ティーサービスセンターでは、近所の人が数多くボランティアとして参加していて、高齢者と話をしたり、縫物や物を作ったりしています。

ここは、旧海軍の施設跡地に建てたコミュニティーセンターから発祥した横須賀基督教社会館が活動の元になっています。社会館は、戦後間もない頃からその時代時代に地域にどこつて必要な福祉活動やサービスを行ってきました。

社会館は、地域の人たちとともに歩むことを大切にした活動をしているんだ。だから社会館がバザーを始めたときには、協力しようという声が地域から上がって、300人を超える人たちがボランティアで参加したことでもあったよ。これは、地域の人たちが「自分たちの社会館なんだ」という気持ちを持っていたからだよね。

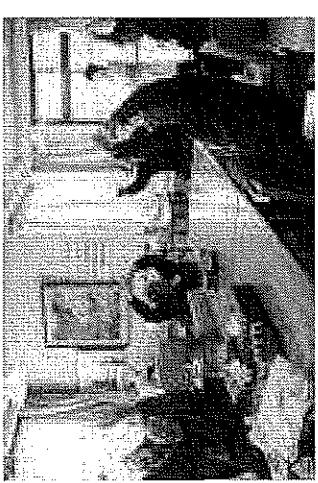
それに加えて、この地域は、階段や坂が多く商店街から遠いなど不便な場所もあるから、近所の人が高齢者や困っている人に気軽に声をかけたり、ご近所で助け合つて暮らしてきた夙土があるんだ。だから近所の人が社会館のボランティアに参加するようになったのも、ごく自然なことだったんだ。

近所の人がボランティアとして関わって近所の人たちと一緒に楽ししくて、おしゃべりしてくれるの、気軽に来て話してほしいですね。

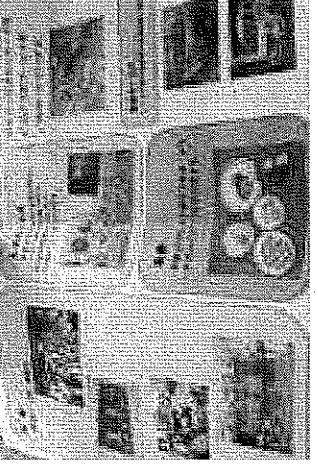


ボランティアの
石渡さく

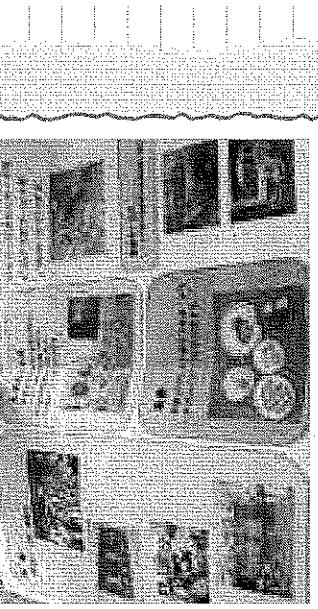
施設のボランティア活動



スタッフと申良しポーズ！



みんなで本屋



ティーサービスのプロジェクトです

ボランティアってなに？

ボランティアとは、自分の意志で、自ら進んで他の人や地域を支える活動などです。困っている人がいたら、手を差し伸べ、自分だけで、自分が周りの人があなたからなるようないやりの行動をおこすことです。また、より社会が豊かになるために、新しいものを創り出します。

人の笑顔が見られるボランティア活動は、とても楽しい！ 続けていくとたくさんのお見や喜び、取り組む達成感、充実感が味わえます。

ボランティアの語源

ボランティアの語源は、自由意志を意味するラテン語「voluntas（ウォルンタス）」であると言われています。その「voluntas」から、喜びや精神を意味するフランス語「volonte（ボランテ）」が生まれ、これに人を表す接尾辞「er」を加えて英語「volunteer（ボランティア）」となつたようです。

ボランティア活動をするときの10つの約束

1 あいさつはきちんとする。
(初めて出会った人と仲良くなるため、自分を知つてもうための第一歩として大切ですね)

2 運れるとき、休むときは連絡をする。
(あなたが来るのを楽しみにしている人がいることを忘れないでね！)

3 約束 ルールは必ず守る。

(相手がいることを忘れないでね！)

4 分からないことは、ちゃんと聞く。

(遠慮や知ったかぶりはダメ)

5 いろいろな人と交流をしてみましょう。

(あなたの世界も広がります)

6 無理なく、自分のベースで継続できる計画を立てる。(「できること」から始めよう)

7 相手を認め、立場を尊重しましょう。

(自分一人の活動ではありません)

8 「してあげる」ではなく自分のために。

(一緒にやろうという気持ですね)

9 活動を通して知つた個人的な情報は、むやみに話さない。

(話すときは、相手の許可をもらつてからね)

10 周囲からの理解を得る。
(家族など周囲の支えがあつてこそ、ボランティア活動は続けられます。活動日時、活動場所の連絡先を事前に伝えましょう。)

ボランティア5つの分野

①集める
集めたものがワクチンや物などと交換でき、援助活動などに役立ちます。

②運ぶ
ペットボトルのキャップ、ペルマーク、使用済み切手・テレフォンカードなど

◆募 金→P19赤い羽根共同募金

◆バザー→P17横須賀基督教社会館

③手伝う
高齢の方や障害のある方などの外出介助等のお手伝いや社会福祉施設でのお手伝いなどがあります。

◆施設の手伝い・催し物の手伝い→P17横須賀基督教社会館

④心があう
高齢の方や子ども、障害のある方、異なる文化を持つ方とコミュニケーションをとるふれあい活動などがあります。

◆訪問・見守り→P4お互いさま山の根 P5ふれあい訪問接待・文通→P14小学生からの手紙つき給食サービス

◆異文化交流→P16多文化まちづくり工房

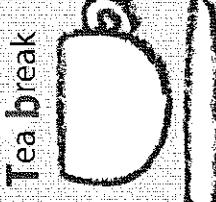
◆出会い系→P7出会い・発見・まち探検

P8パソコンひろば平塚
P9ともしづきショップ cafe BLUE SEAS

⑤教える
子どもたちと遊んだり、宿題をみてあげたりして、一緒に楽しく交流しています。

◆学習指導・遊び指導

レクリエーション→P11おだわら21世紀少年
P12共育ひろば

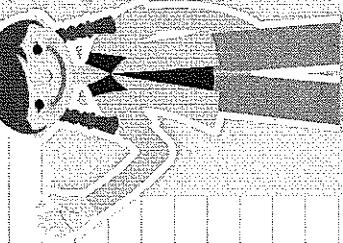


Tea break

事例 B 赤い羽根共同募金 横浜市神奈川区

※県内の各市区町村に共同募金会があります。

募金は、誰が何のため
に集めているのだろう。
集まったお金はどうこに
いくのかなあ。



赤い羽根共同募金は、「共同募金会」という民間の団体によって行なわれ、神奈川では社会福祉法人神奈川県共同募金会が実施しています。住んでいる市町村で寄付されたお金は、約7割がその市町村の色々な福祉活動に役立てられ、残りの約3割は、神奈川県内の福祉活動に使われています。誰かのために…という募金は、自分たちの町の福祉のために使われているのです。赤い羽根共同募金運動は、10月1日～12月31日までの3ヶ月間で、北海道から沖縄まで全国いっせいに行なわれています。

私たちの身近には、障害のある人や高齢者など、手助けを必要とする人々が福祉サービスを利用しながら暮らしているね。例えば、一人暮らしの高齢者にお弁当を届ける配食サービス、障害がある人が出かける時の送迎サービスなどがあるけど、共同募金はこういうサービスを運営するために使われているよ。

共同募金会は、「寄付者と寄付を受ける人の橋渡し」を心がけているそうで、寄付金を渡すだけでなく、寄付者の思いも渡すことを大切にしているんだって。また、赤い羽根共同募金は、ちょっと進んだ活動をしている団体にも配られているよ。少し前の、ホームヘルプサービスもその一つだったんだ。寄付金がこういう民間の活動を支えてきたことによって、そこから新しいサービスのしくみが作られてきたものもあるんだよ。

「誰かの役に立ちたい、でもまざ河をしたらいいのかわからない」という人もいると思うけれど、そんな気持ちを赤い羽根共同募金であらわしてみるのもひとつの方方法じゃないか。自分でできる範囲、できる金額ですね。

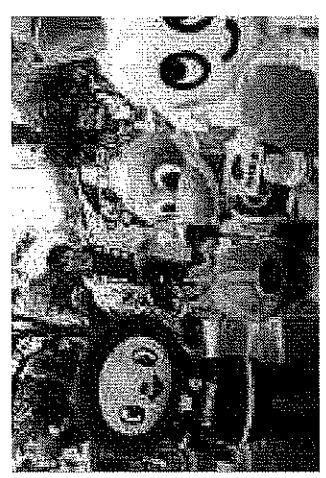
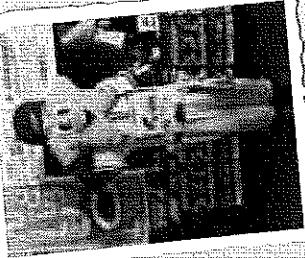
ありだピーチ
メッセージ！

共同募金会は、寄付してくれた人に、寄付金の渡し方を見えることを大事にします。共同募金会のホームページには、寄付を受けた団体からの感謝メッセージが掲載されています。

実際の声を紹介します。

[NPO法人ワーカーズ・コレクティヴ ジャガイモの会]
(高齢者にお弁当などの配食をする会)
赤い羽根共同募金を使わせていただきありがとうございます。今年も地域で暮らす元気なメンバーと一緒に活動をすることができました。来年度は地域で活躍していくらっしゃる他の団体にもじゃがいもの会のお料理をアピールしていきたいと思っています。

県内プロスポーツチームも赤い羽根共同募金を応援

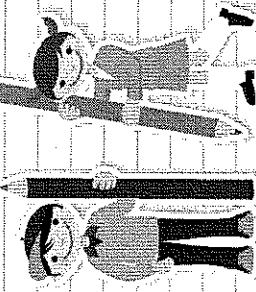


「横浜F・マリノス」試合会場での募金活動

横浜F・マリノスも募金活動に協力

「湘南ベルマーレ」も募金活動に協力

赤い羽根共同募金



あなたはどのタイプ？

地域福祉活動チャート

たとえば…

身体を動かして遊ぶのが好きだ

アクティブラジヤー・スポーツ派

ボイスカウト
ガールスカウト
バザー協力 地域の清掃
子どもの遊び相手

国際問題に興味がある

YES
NO
クラスの行事には積極的に参加するほう

コンピュータゲームが好きだ

いろいろな人と触れ合うのが好き

こだわり文化派
楽しさませタイプ

手話 楽器演奏
催し物企画 施設訪問

文化祭の催し物を考えるのが好きだ

練習問題が解けない人がいれば教えてあげる

今熱中していることがある

ふれあい助け合い派
高齢者への訪問活動
子どもや高齢者の話し相手
パパ活オーラー 買い物介助

スケジュール帳はいつもいっぱいいた

目立たずコツコツ文化派
施設利用者との手紙の交換
高齢者などへのプレゼント
募金活動への協力

どんな人とも気軽に付き合っていける

県内のボランティアセンター

2011年3月7日現在

名 称	所 在 地	Tel	FAX	名 称	所 在 地	Tel	FAX
神奈川県立協	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24 かながわ県民センター12階	045-312-1121	045-312-6307	横須賀市立協	〒238-0041 横須賀市本町2-1 横須賀市立総合福祉会館4階	046-521-1303	046-524-6110
横浜市社協	〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 鹿原屋会館センター8階	045-201-8620	045-201-1620	平塚市社協	〒234-0047 平塚市駅分1-23 平塚市福祉会館内	0463-33-2333	0463-30-3312
鶴見区社協	〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-32-1 NEXビル5階	045-504-5625	045-504-5616	鎌倉市社協	〒248-0012 鎌倉市御成町20-21 諸舎会館1-2階	0467-23-1075	0467-22-2213
神奈川区社協	〒221-0825 横浜市神奈川区反町1-8-1 はと友神新街内	045-311-2014	045-313-2420	藤沢市社協	〒251-8601 藤沢市相田町1-1 市役所第1号舍内	0466-26-9863	0466-26-6978
西区社協	〒220-0011 横浜市西区高島2-7-1 フィーストレイズ横浜3階	045-450-5005	045-451-3131	小田原市社協	〒250-0045 小田原市社会福祉センター内	0465-35-4000	0465-35-5902
中区社協	〒231-0023 横浜市中区山下町2 商業貿易センター(ビル)4階	045-681-6664	045-641-6078	茅ヶ崎市社協	〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-44 七ヶ浜ふ農協ビル2階	0467-85-9650	0467-85-9651
南区社協	〒232-0024 横浜市南区浦和町3-46 満射復合施設8階	045-260-2331	045-251-3264	逗子市社協	〒249-0005 逗子市淡山5-32-1 逗子市福祉会館内	046-873-8011	046-872-2519
港南区社協	〒233-0003 横浜市港南区港南4-2-8 港南区福祉保健活動拠点内	045-841-0256	045-846-4117	三浦市社協	〒249-0006 逗子市逗子4-2-11 市民交流センター内	046-873-8037	046-888-7347
保土ヶ谷区社協	〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区11辻町5-11 「かるがる」3階	045-332-2412	045-334-5805	秦野市社協	〒257-0054 秦野市保健福祉センター内	0463-84-7711	0463-85-1302
旭区社協	〒241-0022 横浜市地区鶴ヶ峰1-6-35 「はづつこ」 旭内	045-392-1133	045-392-0222	厚木市社協	〒243-0018 厚木市中町1-4-1 厚木市総合福祉センター内	046-25-2949	046-22-7440
磯子区社協	〒235-0016 横浜市磯子区篠原1-3-11 磯子センター5階	045-751-0739	045-751-9608	大和市社協	〒242-0004 大和市鶴間1-3-17 大和市保健福祉センター内	046-260-5643	046-263-2446
金沢区社協	〒236-0021 横浜市金沢区尾山1-21-5 「じきいきセンター金沢」内	045-784-2222	045-784-9011	伊勢原市社協	〒259-1-131 伊勢原市伊勢原2-7-31 伊勢原シティプラザ内	0463-94-9600	0463-94-5990
若北区社協	〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町13-1 吉田ビル206	045-547-2238	045-533-1561	海老名市社協	〒243-0034 海老名市上郷47-41 海老名市立総合福祉会館内	046-235-0220	046-232-5661
緑区社協	〒226-2011 横浜市緑区中町413-4 ハーモニーモンみどり内	045-935-7807	045-934-4355	座間市社協	〒252-0021 座間市銀ヶ丘1-2-1 座間市立総合福祉センター内	046-266-2009	046-22-7229
青葉区社協	〒225-0024 横浜市青葉区金沢116-9-22 青葉区福祉保健活動拠点内	045-972-7018	045-972-7018	南足柄市社協	〒250-0105 南足柄市橋本403-2 リンどう会館内	0465-74-3276	0465-70-3210
都筑区社協	〒224-0006 横浜市都筑区元田東4-10-3 渋谷ヒュータウンまちづくり館内	045-943-4058	045-943-1863	綾瀬市社協	〒252-1107 綾瀬市深谷中4-7-10 綾瀬市福祉会館内	0467-74-2299	0465-26-2002
戸塚区社協	〒244-0003 横浜市戸塚区福寿167-25 戸塚区保健活動拠点1階	045-865-8483	045-862-5890	愛川町社協	〒243-0301 爰甲郡愛川町角田257-1 勇町福祉センター内	046-285-2111	046-286-5424
栄区社協	〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29 栄区管内保健活動拠点内	045-824-8521	045-892-8974	渭川村社協	〒243-0195 爰甲郡渭川村220-1 渭川保健福祉センター0-0まらぐ1階	046-287-1118	046-287-2013
泉区社協	〒245-0016 横浜市泉区和泉町3540 泉ぶれいホール内	045-802-2150	045-804-6042	舞山町社協	〒240-0112 三浦郡舞山町西内2220 舞山町福祉文化会館内	046-875-9889	046-876-1873
瀬谷区社協	〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町469	045-361-2117	045-361-2328	川崎市社協	〒244-739-8739 産業労働局内	0457-72-3721	0467-74-5716
川崎区社協	〒211-0053 川崎市中原区上小田町6-22-51 川崎市総合福祉センター5階	044-211-8741	044-211-8741	大磯町社協	〒255-0003 中郡大磯町大磯1357-1 大磯町立福祉センターさざな石丸	0463-61-9390	0463-56-7614
幸区社協	〒210-0006 川崎市川崎区弥生1-10-2 ソリオ弥生ビル4階(福利社・りふぞう)	044-556-5500	044-556-5500	二宮町社協	〒259-0123 中郡二宮町二宮1410 二宮町保健センター1階	0463-73-0294	0463-73-9295
中原区社協	〒211-0067 川崎市中原区今井町34 和田ビル1階(福利社・りふぞう)	044-72-5500	044-71-1260	中井町社協	〒259-0153 足柄上郡中比治塩屋104-1 中井町保健福祉センターしらさぎ内	0465-81-2261	0465-81-6558
高津区社協	〒213-0001 川崎市高津区港町1-6-10 てくのかわさき3階(福利社・りふぞう)	044-81-2500	044-81-2549	大井町社協	〒258-0016 足柄上郡大井町上大井68-2	0465-84-3391	0465-85-3123
宮前区社協	〒216-0033 川崎市宮前区宮前2-2-10 神奈倉会館ガーデンオーバス4階(福利社・りふぞう)	044-836-5500	044-836-5500	松木町社協	〒258-0003 波浜町松木町4號2-2 松木町保健福祉センター内	0465-82-0294	0465-82-9241
多摩区社協	〒214-0014 川崎市多摩区豊戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2階(福利社・りふぞう)	044-935-5500	044-935-5500	山北町社協	〒258-0111 山北町山北町向原1379-1 山北町社会福祉協議会内	0465-75-1294	0465-75-4079
狹生区社協	〒215-0004 川崎市狹生区万福寺1-2-2 新百合1階(福利社・りふぞう)	044-952-5500	044-952-1424	開成町社協	〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島1043-1 開成町保健福祉会館内	0465-82-5722	0465-82-5928
相模原市社協	〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館内	042-786-6181	042-786-6182	箱根町社協	〒250-0311 足柄下郡箱根町湯本855	0460-85-9000	0465-85-6888
相模原市社協	〒252-0303 相模原市南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター内	042-765-7085	042-748-4419	芦河原町社協	〒259-0201 足柄下郡芦河原町草野47-5 真鶴町まんテイサークスセンター内	0465-68-3313	0465-68-4179
しづやま	〒252-0105 相模原市緑区城山久保沢2-26-1 城山保健福祉センター内	042-783-1212	042-782-4050	相模原市社協	〒259-0305 足柄下郡河原町城原7番地の6町地頭邸会館内	0465-62-3700	0465-62-5150
相模原市社協	〒252-0157 相模原市緑区岸久井町中野633 津久井総合事務所内	042-784-3393	042-784-6142	Memo			
相模原市社協	〒252-0171 相模原市緑区与瀬896 相模湖総合事務所内	042-649-0202	042-649-0200				
相模原市社協	〒252-0134 相模原市緑区小渕2000 藤野総合事務所内	042-687-3361	042-687-4049				

はじめてのまきばくし活動ノート

平成23年8月発行
神奈川県保健福祉部地場保健課
社会福祉法人 神奈川厚生会 厚祉講会
作成担当者 望月 里子 (江西) 大学総合福祉専門学校
※緊急用削出事実高野寺彌金重美

